

凡事徹底・活力・環境

 **五小だより**

<http://5s.hvama.andteacher.jp>

令和 8年 5月 1日

No.2

東大和市立第五小学校

TEL (042) 562-1981

FAX (042) 590-7022

「あいさつ」と「返事」

校長 宮崎 貴仁

新緑がまぶしく、木々の若葉が生き生きと輝く季節となり、心地よい日々が続いております。新年度が始まってから一か月が過ぎ、子どもたちも新しい学級や友達、先生との生活に少しずつ慣れてきたようです。朝の登校時には、元気な声で挨拶を交わす姿が見られ、校内には明るい雰囲気広がっています。

さて、本校では今年度改めて「あいさつ」と「返事」を大切にしたい指導に力を入れております。どちらも日常生活において、人と人とのコミュニケーションで欠かすことのできない、大切な基盤となるものです。あいさつは、相手との関係を築く第一歩であり、自分の気持ちを相手に伝える大切な手段です。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」といった言葉を、自分から進んで伝えることで、相手との距離がぐっと近づきます。また、あいさつが自然に交わされることで、学校全体の雰囲気を明るくします。本校では、子どもたちが自分から進んであいさつができるよう、日々繰り返し声をかけています。最初は恥ずかしそうな小さな声でも、毎日の積み重ねが、自信につながり、笑顔で元気なあいさつへと変化してくれることを期待しています。

また、返事は相手の言葉をしっかりと受け止めたことを示す大切な行動です。「はい」と返事をするのは、自分の存在を示すだけでなく、相手への敬意を表すことにもつながります。授業中や集団生活の中で、名前を呼ばれたときにしっかりと返事ができることは、学びの基盤であり、規律ある生活を支える大切な力です。本校では、返事を習慣として身に付けさせたいと思っています。繰り返しの指導を通して、呼ばれたら反射的に返事ができる状態を目指しています。

こうした「あいさつ」と「返事」の力は、学校だけで育つものではなく、ご家庭での関わりの中でも大きく育まれていきます。ぜひご家庭におかれましても、保護者の皆様がまず良き手本となっただければと思います。大人が交わす何気ない一言や態度は、子どもたちにとって大きな学びとなり、より確かなものになっていきます。

今後も、子どもたちが互いを大切にしながら成長していけるよう、日々の指導を丁寧に積み重ねてまいります。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。